



東京金山会通信 No.66



◀まちライブラリー MOYA
Instagramはこちら

ぜひ一度訪れてみてはいかがでしょう？「まちライブラリー MOYA」

「まちライブラリー」は、読書や蔵書へのアクセスが目的となる「図書館」とは少々異なり、訪れていただく方々が「本」にふれながら、ご自身の時間を思いのままに過ごす空間、「本」を中心としたコミュニティの場として、全国に1000カ所以上、大小多様なカタチのライブラリーが活動しています。今年8月に金山町にも「まちライブラリー MOYA」が新たに開設されました。東京金山会は本活動を後援しており、東京から有志でこちらのライブラリーを訪問しました。場所は「マルコの蔵」の向かい、「いちやま」の敷地内。稲穂色の暖簾をくぐり、中2階へあがると、広くて白いリビングルームと、緑の芝生、金山杉の建物に囲まれた中庭がとても綺麗で、ざわざわとした「音」にも苛まれることもなく、とても静かで落ち着いた雰囲気です。例えば、仕事や学校、家での生活など、普段の日常生活から「少し離れてみたい」と思う時に、ここはとてもよい空間で、本を手にとらずとも、庭を眺めて「もの思い」にふけてみたり、目を閉じて思考をとめてみるだけでも、心地よい時間を過ごすことができます。

哲学やアート、文芸書を中心に沢山の本があり、「ゆっくり文章を読み込みたい」「デザインやフォトを眺めたい」など、気分に合わせて本を手に取りながら選んでいくのも楽しいものです。「まちライブラリー MOYA」の主催者である石井さんは「カフェのように飲食を前提とせず、本を中心とした空間・コミュニティであることで、ライブラリーならではの価値や交流機会をみなさまへ提供してゆきたい」想いを語ってくれました。「まちライブラリー MOYA」が、金山らしい魅力のあるコミ

ュニティへ育ち、町の発展へ貢献することができたら、素晴らしいことだと思います。「本を読みたい」だけでなく、普段の日常生活から「ちょっと気持ちを変えてみたい」といった時に、気軽に訪れることが出来る場所でもあります。ぜひ一度「まちライブラリー MOYA」を訪れてみてはいかがでしょう。



▶まちライブラリー MOYA

まちライブラリー MOYA

【日 時】 10月27日(日) までの金土日 13時～17時
【応援代】 大人1,000円 子供500円(小学生以上)
※初回利用時のみ
【場 所】 金山町大字金山325 (いちやま敷地内)

【問合せ】 東京金山会 広報担当 藤山善夫 ☎080-5525-0435 mail : fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

森の子ども図書

No.225



おちばいちば

作：西原みのり

さっちゃん、どんぐりのお馬さんを、眺めていました。すると、突然強い風が吹いてきて、気付けばお馬さんに乗っていました。導かれた先は、なんと不思議な「おちばいちば」。そこには、木の実で作られたお団子や天ぷら、落ち葉のスカートなどがずらりと並んでいました。そこへ現れたのは、大きなキツネ！はっぱを頭にのせると・・・。

交流サロンぽすと

月～金 12時30分～17時30分まで
※12・1・2月は17時閉館
※祝・盆・正月は休み



※() 内作者名

／今月は7冊！／

工務店の日報(福田雄一)／よるよ(コジヤジコ)／どっち？(キボリノコンノ)／明智恭介の奔走(今村昌弘)
銀河鉄道の星(後藤正文)／猛暑対策BOOK日本のヤバイ夏を最新科学の力で乗りきる！(藤井直人)
難問の多い料理店(結城真一郎)

図書室だより



明智恭介の奔走

今村昌弘／東京創元社

神紅大学ミステリー愛好会会長明智恭介。事件を求めている彼は、果たして名探偵なのか、ただのトラブルメーカーなのか。泥棒同士が鉢合わせした盗難騒ぎ、夏休み直前に起きた試験問題漏洩事件、助手であり唯一の会員を巻き込んで繰り広げる日常の謎など「屍人荘の殺人」以前に起きた5つの事件を描く！



よるよ

コジヤジコ／偕成社

さかさことは(回文)を知っていますか？「しんぶん」や「たけやぶやけた」のように、上から読んでも下から読んでも同じ読み方になる、愉快な言葉遊びの事です。回文から広がる不思議な夜の出来事や、日本語の音の響きをお楽しみください。何層にも重なり合うクレヨンが色鮮やかでかわいらしい絵本。

【図書コーナー】 金山町中央公民館内 9時～17時

10月25日(金) 管理釣り場がグランドオープン！

地域おこし協力隊 池田 達哉

金山町
地域おこし協力隊

秋涼しい時期になりましたね！皆さんこんにちは。
有屋の「いわなや」を、事業承継する活動をしております協力隊の池田です。今月のコラムは、山形県内では、「初」となる【神室フィッシャーマンズロッジ】という管理釣り場が、いよいよ10月25日(金)にグランドオープンを迎えますので、その紹介をさせていただきます。神室ダム下にあるいわなやの上流生け簀横の土地をお借りして、6月より建設工事ではありましたが、7月に釣り池が完成し、ただいまは、ログハウス風の受付場を作っております。まもなく完成しますので、それを待つてOPENとなります。
管理釣り場という言葉をご存じない方もいらっしゃると思いますので、ひと昔前の釣り堀との違いを少し紹介します。
まず、管理釣り場は、通称エリアウトといって、人為的に管理されたフィールドでニジマスを中心とした魚を、ヘルパー・フラインを用いてキャッチアンドリリース前提で狙う釣り場となります。なので、昔の「延べ竿を用いたエサ釣り」で、釣った分を目方で買うといったシステムではありません。ポイントとは、管理されたという事が大事であり、加えて、魚の状態はもちろんです。釣り場がキレイに整っていることです。さらに、子どもたちにとって、今は身近な川や池は、水難事故防止のために遊んではいけない場所になっており、こうしたことから全く釣りを



▶釣り場

したことがない世代が増えているといえます。けれど、初めて釣りをする大人が楽しむ姿を子どもに見せることや、仲間同士でともに分かち合えること、何より子どもたちにとって、水に触れ魚と遊ぶことや、自分で釣った魚を得意げに見せる時には、笑顔があります。楽しさや嬉しさがあります。それを手軽に確実に感じられる場所が、足場がしっかりし落水の危険がなく安心安全な管理釣り場の一つの役割だと考えています。釣りをする保護者の皆さん、お子さんに魚のこと、釣り・マナーのことを覚えてほしい時には管理釣り場は最適です。親子共通の趣味が持てるって素敵だと思いませんか、子どもの時期に釣りを覚えられたら、大人になって色んな釣り仲間に出会えるはず！かの有名な開高健さんも書いておりました。『幸せになりたかったら、釣りをおぼえなさい』と。そう！釣りに行こう。【神室フィッシャーマンズロッジ】は、年内は大雪が降るまで営業する予定です。日々の活動は、Instagramで配信中です。ぜひ、フォローのほどよろしくお願い致します。



金山杉俳句会報 第四九二回

広重の夕立ちの絵の激しさよ
墓石まで泥の跡あり盆参り

阿部 一代

山百合のかすかに匂ふ風の径
オルガンでカチューシャ唄った若い夏

星川 キエ子

お祭りの山車が過ぎゆく秋気配
ひぐらしや黄昏の森餅する

岸 昭子

空蟬や枝に爪立て縋り付く
初めての避難指示有り秋出水

高橋 洋子

染斑が好きで藍染夏帽子
盆僧の方減りの下駄揃えやり

鵜沼 よし子

稲架組む合掌造りの家に棲み
峪音の些か細り薄紅葉

栗田 弥超

かねやま紅風会

思い出を夫と絆の星月夜
宮参り安齡願う八十の坂
豊穰や神に感謝の今年米

荒屋 阿部 勝子

習いごと帰る夜道に昇る月
励む手に色なき風の通り過ぎ
立姿茜に染むる吾亦紅

荒屋 関 喜美子

赤まんま道行人を和ませり
稲ひかり短き音や北の空
感動や夕焼空を惜しむ秋

菅越 庄司 けみ子

山を越へ音だけ届く遠花火
みちのくの人にやさしき稲の花
ゆとりなく過去る日々の夏晩花

七日町 青柳 キエ子

夏草や歴史の道を狭まぐせり
山深く湯舟に聞くや蟬の声
青葉沁むせせらぎの音湯守宿

上台 阿部 一步